

| | |
|------------------|--|
| 学校名 | 嬉野市立塩田小学校 |
| 1 前年度 評価結果の概要 | <p>○校内研究では、語彙に着目し国語科教材と日常の指導を行い成果を上げた。基礎基本の定着はあるが、思考力の落ち込みが見られる。</p> <p>○特別支援教育の体制づくりが整い、外部機関との連携が出来た。一人ひとりにあった支援の仕方の工夫が必要である。</p> <p>○地域連携による体験活動が充実している。ねらいの明確化と行事の精選により、更なる豊かな学びにつなげたい。</p> |
| 2 学校教育目標 | 元気に がんばる 塩田っ子の育成 |
| 3 本年度の重点目標 | <p>○NIEを活用した主体的学習習慣の確立</p> <p>○特別支援教育の推進</p> |

| 4 重点取組内容・成果指標 | | | | 主な担当者(案) |
|----------------------|--|--|--|-----------------------------------|
| (1)共通評価項目 | | | | |
| 評価項目 | 重点取組 取組内容 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 | |
| ●学力の向上 | ●全職員による共通理解と共通実践 | ●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師を80%以上にする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員間でマイプランを共有する場を設定する。 ・めあてに対応した振り返りが書けるよう、プロジェクトで振り返りを書く際の3つのポイントについて提示し、実践を促す。 ・1単位時間内に対話的活動を入れるよう共通理解を図る。 | かしこくプロジェクト ・小手田 ・山口幸 |
| | ○NIEを活用した校内研究実践の充実 | ○学校評価アンケートにおいて、NIE実践に対する肯定的な回答をした児童を80%以上にする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が各学年でNIEを取り入れた授業実践を行う。 ・図書室内に新聞閲覧コーナーを設置し、月に1回、図書委員おすすめ記事を掲示する。「読書ノート」に読んだ新聞や本の感想を書かせ、給食時間の放送で月1回、紹介させる。 ・上学年でNIEノートを活用し、定期的に学級内で考えを交流させる。 | かしこくプロジェクト ・富永 ・藤井 ・植松 |
| ●心の教育 | ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 | ・アンケートで「学校は道徳など心の教育に積極的に取り組んでいる」と答える保護者が85%以上をめざす。 | <ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上、道徳の授業を公開する(9月の授業参観で、全学級「ふれあい道徳を実施する。) ・ふれあい道徳の前後に、担任の願いや保護者の感想を、お便りにて保護者や地域に知らせる。 ・人権集会や平和集会の内容を充実させる。 | やさしくプロジェクト ・田代 ・白仁田 |
| | ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 | ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員が100%になることをめざす。 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する児童の情報交換を、年5回(4月、5月、学期末、11月、学年末)に行う。 ・特別支援教育に関する研修会を年1回以上開く。 ・児童の実態を把握し、保護者、SC、教育相談員、関係機関との連携を図る。 | やさしくプロジェクト ・吉村 ・川原 |
| | ○あいさつ・返事の励行 | ・アンケートで「あいさつ・返事ができている」と答える児童・保護者が共に85%以上になることをめざす。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ・返事」を年間を通した生活目標とする。 ・あいさつや返事の仕方(声の大きさや態度など)について具体的に指導するとともに、日頃から地域の人への積極的なあいさつを呼びかける。 ・あいさつ・返事名人をほめる。 | やさしくプロジェクト ・有森 |
| ●健康・体づくり | ●望ましい生活習慣の形成 | ○学校評価アンケートで、「早寝・早起き・朝ごはん」が実践できていると答える児童・保護者をともに80%以上にする。 ○学校評価アンケートで、「手洗い・うがい・歯磨き」ができていると答える児童・保護者をともに90%以上にする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・8月と1月の年2回、生活がんばりカードで「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」をチェックする。 ・保健だよりで「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」を呼びかける。 ・養護教諭と連携し、生活習慣に関する保健指導を各教室で行う。 | たくましくプロジェクト ・山口恵 ・宮崎 ・小國 |
| | ◎志を高める体験活動の充実 | ○学校評価アンケートで、生活科・総合的な学習の時間や学校行事を通して、地域の良さを見つけることができたと答える児童を80%以上にする。 ○学校評価アンケートで、学校は体験活動の充実に努めていると答えた保護者を80%以上にする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活科や総合的な学習において児童の興味・関心を生かした体験活動や表現活動を多く取り入れる。 ・各学年で、外部や地域ボランティアと連携した学習活動を年間2回以上行う。 | たくましくプロジェクト ・倉富 ・安田 |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 | ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限(週当たり45時間以内)を遵守する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト機能を活かし、仕事を効率よく分担し協働する。 ・定時退勤推進日には、全職員18時までに退勤する。 | ・校長 ・教頭 |
| (2)本年度重点的に取り組む独自評価項目 | | | | 主な担当者 |
| 重点取組 | | | | |
| 評価項目 | 重点取組内容 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 | |
| ○特別支援教育の充実 | 特別支援教育の支援体制の構築 | ・アンケートで「困り感を持つ児童に対して、きめ細やかな指導・支援を行うことができている」と答える職員が85%以上になることをめざす。 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する児童の情報交換を、年5回(4月、5月、学期末、11月、学年末)に行う。 ・特別支援教育に関する研修会を年1回以上開く。 ・児童の実態を把握し、保護者、SC、教育相談員、関係機関との連携を図る。 | ・小國 ・白仁田 |

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育